

キリストが神の宮としての召会を建造する道

聖書：エペソ 2:21-22. 3:16-17 前半. 4:15-16. コロサイ 2:19.

I コリント 3:6-7. ヨハネ 14:2, 20, 23

I. キリストが神の宮としての召会を建造するのは、ご自身をわたしたちの中へと建造し込むことによってです——エペソ 2:21-22. 3:16-17 前半：

A. 新約の初めに、キリストはまずダビデの子として紹介され、サムエル記下第 7 章でのダビデとの神の契約を成就しました——マタイ 1:1. 9:27. 12:23. 15:22. 20:30-31. 21:9, 15. 22:42, 45。

B. ダビデは神に家を建てることを願いましたが、神はご自身をダビデの中へと建造し込むことを願いました——サムエル下 7:2-3, 5, 12-14 前半, 16。

C. サムエル記下第 7 章 12 節から 14 節前半の内在的な意義とは、三一の神がご自身を、彼の手順を経て究極的に完成された三一の中で、彼の選びの民の中へと造り込んでいるということです。ですから、サムエル記下第 7 章 12 節から 14 節前半は、三一の神がご自身をわたしたちの中へと造り込んで、わたしたちを彼の住まいにしつつあることについてです：

1. わたしたちは、神にその霊としてのキリストをわたしたちの存在のあらゆる部分の中へと造り込んでいたでき、それによってわたしたちがキリストで構成されることを必要とします——I コリント 15:45 後半. エペソ 3:16-17 前半。

2. 神が宮、住まいを持つのは、わたしたちが行なったり働いたりすることによるのではなく、彼が建造することによります——マタイ 16:18：

a. キリストが神の宮としての召会を建造するのは、わたしたちの霊の中へと入って来て、ご自身をわたしたちの思い、感情、意志の中へと拡大することによります——エペソ 2:21-22. 3:16-17 前半。

b. 神はキリストの中でわたしたちの内側にいて、ご自身をわたしたちの存在の中へと建造し込み、わたしたちを彼の存在の中へと建造し込みます。これが、キリストが神の宮を建造する道です——マタイ 16:18. ヨハネ 2:19-21. エペソ 2:21-22. 3:16-17 前半。

c. わたしたちの中へと建造し込まれるキリストは、神の家でもあり、わたしたちの家でもあります。この家は相互の住まいであり、そこにおいて神とわたしたち、わたしたちと神は、相互の住まいとなります——ヨハネ 14:2, 23. 15:4 前半。

II. キリストが神の宮としての召会を建造するのは、神性と人性とのミングリングによってです——マタイ 12:23, 42. 16:18. ヨハネ 2:19-21. 14:2-3, 20, 23：

A. 建造の真の意義は、神がご自身を人の中へと建造し込み、人をご自身の中へと建造し込んでいるということです。これは神と人のミングリングです——エペソ 2:21-22. 3:16-17 前半。

- B. 神の唯一の定められた御旨は、ご自身をわたしたちとミングリングして、彼がわたしたちの命、性質、内容となり、わたしたちが彼の団体の表現となることです——ヨハネ 14:20. 15:4-5. エペソ 3:16-21. 4:4-6, 16。
- C. 神と人とのミングリングは、神性の要素と人性の要素との内在的な結合であり、一つの有機的な実体を形成しますが、この結合の中で、それぞれの要素は区別されたままです。
- D. キリストのからだはキリストの拡大、すなわち、神と人のミングリングである方の拡大です—— 1:22-23. 4:4-6, 16 :
1. 福音書で、神と人のミングリングは、かしらを生み出しました——エペソ 1:22-23。
 2. 使徒行伝で、神と人のミングリングの拡大は、キリストのからだを生み出します——エペソ 4:15-16。
 3. キリストのからだは完全にミングリングされた霊の中の事柄です。キリストのからだの実際の中にいることは、ミングリングされた霊の中において、ミングリングされた霊の中で生きることです——ローマ 8:4-5. 12:4-5. I コリント 6:17. 12:12-13, 27。
 4. キリストのからだとしての召会は、キリストに自分とミングリングしていただき、また神とミングリングされている一群れの人です——エペソ 3:16-21. 4:16。
- E. 最終的に、三一の神と贖われた人性は、ミングリングされ建造されて一つの実体、すなわち新エルサレムとなります——啓 21:2, 10 :
1. 新エルサレムが建造されるのは、神がご自身を人の中へと構成し込んで、人を命、性質、構成において神と同じにし、神と人が一つの団体の実体となることによってです—— 18-21 節。
 2. 新エルサレムは、神性と人性が共にミングリングされて一つの実体となっている構成体です—— 3, 22 節 :
 - a. すべての構成要素は、同じ命、性質、構成を持っており、それゆえに一人の団体の人です。
 - b. 神と人、人と神は、共に建造されます。これがキリストの建造の究極的完成です。
- III. キリストが神の宮としての召会を建造するのは、信者たちが命において成長し、神聖な命の中で共に結合されることを通してです——エペソ 2:21-22. 4:15-16. コロサイ 2:19 :
- A. 隅の石であるキリストの中で、建物全体が共に組み合わされ、主の中にある聖なる宮へと成長していきます——エペソ 2:20-21 :
1. 共に組み合わされるとは、建造の状況と状態にふさわしくされることです。
 2. 建物は生きていますので (I ペテロ 2:5)、成長しています。それは主の中にある聖なる宮へと成長していきます。
 3. 召会の実際の建造は、信者たちの命の成長によります——マタイ 16:18. エ

ペソ 2:21, 4:15-16 :

- a. 神の宮としての召会の建造は、信者たちの命の成長によります。命の成長が建造です—— I コリント 3:9, 16-17. エペソ 4:15-16。
 - b. わたしたちが神聖な命の中で成長するとき、また神聖な命の中で共に結合されるとき、わたしたちは建造、神の宮です—— 2:21。
- B. エペソ第 4 章 16 節とコロサイ第 2 章 19 節は、からだの成長について語っています :
1. 成長するとは、キリストがわたしたちの中へと加えられることです—— I コリント 3:6-7. ガラテヤ 4:19。
 2. からだの成長は、かしらとしてのキリストから出て来るものにかかっています——エペソ 4:15-16 :
 - a. からだがかしらに結び付くことによって供給されるとき、からだは神の増し加わりによって成長します——コロサイ 2:19。
 - b. からだはかしらから成長します。なぜなら、すべての供給はかしらから来るからです——エペソ 4:15-16。
 3. からだの成長は、わたしたちの内側での神の増し加わり、神の加わること、神の増加にかかっています——コロサイ 2:19。
 4. 神がわたしたちの中へと加えられれば加えられるほど、彼はますますわたしたちを成長させます。これが、神が成長させる道であり、成長は神の宮としての召会の建造です—— I コリント 3:6-7, 16-17。